



# SIA 安全なスノースポーツ普及と 公認校の重要性

公益社団法人日本プロスキー教師協会 会長

杉山 公信

## SIAの使命と目的

公益社団法人日本プロスキー教師協会は、英語名Professional Ski Instructor Association of Japanから3文字をとり「SIA」と呼んでおります。

教えるプロである我々SIAの最大の使命であり目的は、健常・障がい者を問わず、スキーをはじめとするスノースポーツの“安全な普及”であります。

スノースポーツは大自然の中で行う素晴らしいスポーツですが、一方でスキーヤー（スノーボード等含む）は自分自身で状況に応じて、自らをコントロールして、立木や他者との衝突を回避しなくてはなりません。そして、その為に必要なのは“確実な技術”であることは言うまでもありません。我々はお客様それぞれの体力・技術レベル・目的に応じて、整備されたコース・コブ斜面・深雪・アイスバーン等の様々な状況に対応できる確実な技術の習得の為に、個々に最適なアプローチで提案するレッスンを行っております。

## 資格

我々の教師資格は認定教師を含めて、以下の4つに分かれています。

アルペンスキー：ステージⅠ～Ⅳ

スノーボード：ステージⅠ～Ⅳ

テレマーク：ステージⅠ～Ⅳ

障がい者スキー認定教師

ステージⅠは認定会員、Ⅱより正会員、Ⅲからは合わせて国際スキー教師連盟会員となり、Ⅳが最高位資格となります。資格取得検定試験に臨むには、各ステージにおいて、定められた時間数の机上・雪上講習を受講する必要があり、その上で雪上滑走検定試験・指導法検定試験を行っております。また、正会員には資格維持の為の救急法の受講と、各種セミナー等の参加による研修単位取得が義務づけられています。

障がいの方々にも広く対応する、障がい者スキー認定教師は近年、日本財団様のご支援を受け、2022年には新たなチアスキーを8台導入し、障がい者スキー認定教師検定会を複数回行う事により、認定教師も増えています。

# ISIA (International Ski Instructor Association・国際スキー教師連盟)

---

我々SIAは、日本から唯一ISIAに加盟しております。

ISIAは世界33カ国が加盟しているプロスキー教師の国際連盟であり、加盟国のプロスキー教師たるレベルの維持発展を目的としています。詳細の指導法・技術の展開は各国にゆだねられてはいますが、ISIA正会員レベルには総計320時間以上の研修会・検定会の実施を義務づけております（ミニマムスタンダード）。

SIAにおいてはステージⅢ取得時にそれを満たし、ISIA正会員となります。また、総計420時間満たし、各国の最上位資格を有した者が、ISIAの定めた大回転（GS）における規定計測タイムに達し、山岳安全講習（Mountain Security）に合格することで、「ISIA Card」（ISIAの定める最高位資格）レベル資格者として登録されます。

## グローバルな時代への対応

---

ご存じの通り、観光立国を目指す日本はインバウンド増加の為の様々な施策を進めています。しかし残念ながら、約10年前まで日本人のお客様向けのレッスンだけを行ってきた我々は、その対応が十分とは言えない状況であります。SIA公認校、全133校のうち、約7割の公認校は多かれ少なかれ、外国人のお客様に対応していますが、昨今のスキー場に急増しているインバウンドに対して、更なる対応を急ぐ必要があります。数年前より、SIA会員向け研修会では「英語レッスン研修」「中国語レッスン研修」を行い、アルペンスキーステージⅠは英語による検定会参加を認め、外国人インストラクターを公認校で採用する事を進めてはおりますが、これから更なるスピード感をもっての対応を進めて参ります。

## 日本において 非公認校は認めてはならない

---

インバウンド対応の為に、外国人インストラクターの採用、もしくは、外国人経営のスクールの必要性はあります。しかし、あくまで国内におけるスクールは我々SIAもしくはSAJ（全日本スキー連盟）加盟公認校でなくてはいけない、というのが我々の立場であります。すべては有資格者が安全なスノースポーツを、それぞれのスキー場に応じて指導展開をする事。万一の事故怪我の際にも適切な対応を迅速に行い、傷害および必要に応じて、賠償保険も備えている事が、お客様の国籍を問わず、必要であります。そして、我々の公認校はその対応を行うために、毎年の校長研修会等を通じて研鑽を重ねております。

現在、SIA公認校には数名の外国人校長・経営者の公認校があり、そこに完璧な日本語は求めず、日本語のサポート出来るスタッフがおり、公認校認定要件を満たす事で承認しております。今後も外国人による非公認校が我々の公認校となる事を強く求め、その為のサポートに尽力いたします。我々の公認校は法令に基づき、法人税・所得税・労災保険・・・の義務を当たり前に果たしております。一方で、現行の法令には非公認校に対する明確な方策は残念ながらありません。スキーフィールド経営者の方々の立場からすると、インバウンド対応の為の外国人による非公認校経営を認める事が利となり、必要でもある事は承知しておりますが、どうぞ我々の考えにご賛同いただき、国内のすべてのスクールが公認校となる事へのご理解の程、お願い申し上げます。

## 杉山 公信 ／ Sugiyama Kiminobu

---

1969年2月5日生まれ

一般財団法人日本スノースポーツ＆リゾーツ協議会 副会長

公益社団法人日本プロスキー教師協会 (SIA) 会長

国際スキー教師連盟 (ISIA) 副会長

志賀高原観光協会 インバウンド委員長

杉山スキー＆スノースポーツスクール 校長

Shiga International Ski School 校長

株式会社スギヤマトラベル 代表取締役